

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みなみん福山新渥		
○保護者評価実施期間	2026年2月14日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年2月14日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援を提供しています。	集団活動だけでなく、自立活動を通して小集団や個別での活動機会を設け、それぞれの子ども達に合わせた支援を行っております。	各職員が研修に参加するなどして、更に専門性を身につけ支援に生かしていけるようにします。
2	子どもの発達状況について、保護者と共通理解をもち支援に取り組んでいます。	子どもの現在の状況や困り感などを共有し、個別支援計画をもとに取り組んでいる支援について、保護者の方に話しております。日々の様子については、送迎・お迎えの際やモニタリングのときにお伝えしています。	職員のミーティングで子どもの様子や課題を共有しています。今後は更にその子に応じた自立活動や集団活動を行っていけるようにしていきます。活動内容に偏りが出ないように工夫し、応じた支援による子どもの様子を保護者にお伝えしていきます。
3	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援を行っております。	モニタリングで保護者の要望、現在の子どもの家や学校での様子を共有し、事業所での支援について説明しています。また小学校や相談支援員、他事業所などの関係機関とも連携し、現在の子どもの様子について、必要に応じて助言等も行っております。	保護者の思い、子ども本人の思いや願いを大切に、スタッフでの情報共有を常に行いながら、成長につながる支援を考え、それを保護者へお伝えしていきます。困り感だけに目を向けず、成長や子どもの得意なことをも更に伸ばしていくことができるような支援を心がけていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の開催については、昨年度も開催に慎重なご意見が多く、実施出来ていない状況です。	保護者の方々もお仕事をされていたりお忙しく、子どもによって発達段階に差が大きく、悩みの共有が難しいというご意見もあり、保護者会の必要性を感じておられない方も多い状況です。	保護者の方のニーズを把握し、開催については慎重に検討して参ります。
2	家族支援プログラムや、ご家族の方が参加できる研修などの情報提供はが、十分行われていないと感じる保護者の方がいらっしゃいました。	事業所のドアに掲示するなどしていましたが、送迎を利用されている保護者の方には情報が届いておりませんでした。	今後はHUGの「活動記録」のところで、家族支援プログラムや研修会などの情報提供をさせていただきます。
3	地域の他の子どもと活動する機会があまり持っておりませんでした。	地域の図書館や公園などの利用は定期的に行っていますが、その地域の子どもの交流の機会はありませんでした。	子ども達の特性もふまえ、安心してそうした交流の機会もてるか検討していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みなみん福山新産

公表日 2026年3月6日

利用児童数 23

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	3	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	5	5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20			・いつも拝見するのを楽しみにしています。	ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19		1	・毎回とても楽しみにしています。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みなみ山福山新荘				公表日	2026年 3月7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2		1ルームであり、子どもの体格や人数に対しては広さが十分でないと思われるときがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8	1	人員基準を守って職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	パーテーションを活用したり柵を移動するなど、活動に応じた場面設定をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日清掃し、清潔な空間をこころがけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	プレハブの移動やパーテーションを活用し工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年に1回の保護者向け評価の集計は、職員で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ミーティングや、定期的な職員との面談で職員の意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		自己研鑽で外部の研修に参加している。研修を受講後は報告書を作成、他の職員にも内容を周知している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		モニタリング後のミーティングでは、保護者の意向と児童の課題等を職員で共有している。次の個別支援計画の原案を児童発達支援管理責任者から説明し、短期目標と支援方法について確認している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画をもとに、自立活動など個別の活動・支援を考えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		ミーティングで話し合いをしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		集団活動、自立活動共に、内容が偏らないようにミーティングで話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団活動と自立活動の両方を行い、それぞれの活動の中で支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		次の日のミーティングで振り返りを行うので、昼から出勤する職員と支援の振り返りを共有できていないときがあった。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援の記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に1度必ず利用児童の保護者とモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者または児童発達支援管理責任者が出席し、会議の内容は記録をし、他の職員にも必ず共有し日々の支援に生かしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて、教育・医療などの関係機関と連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5		利用児童が1～3年生であるため前例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3		今後は児童発達支援センターの研修にも参加するなどしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	公園に行った際に少し交流することはある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		協議会のことを知らないスタッフもおり、周知をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		今後はHUGの「活動記録」のところで家族支援プログラムや家族の参加できる研修の情報提供を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	父母会の開催は去年の保護者アンケートであり前向きな意見があまりなく、今年は実施していない。	保護者のニーズを踏まえて開催を検討する必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	地域とのつながりは大切だが、地域住民の招待等はしていない。	地域に開かれた事業運営は大切だが、子ども達の特性もあり、地域住民の招待については慎重な検討が必要
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPをもとにした研修を年度始めに行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全研修を行い、スタッフで子どもの安全に対する意識を高めるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットがあった場合は事業所間でも情報を共有し、全職員に周知して再発防止に向けて取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				